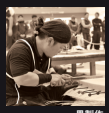

プラスチック系床仕上げ


カーペット系床仕上げ


日本料理


フラワー装飾


畳製作


建築配管


婦人服製作


表具


かわらぶき


壁装

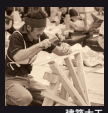

粘着シート仕上げ広告美術

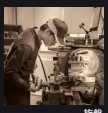

レストランサービス


造園


園芸装飾


建具


建築大工


旋盤


ペイント仕上げ広告美術


タイル張り

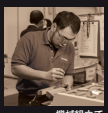

ガラス施工


石工


プライス盤

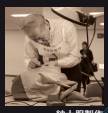

印章木口彫刻


寝具


機械組立て


和裁


家具


紳士服製作


貴金属装身具


染色補正

天皇陛下御在位三十年記念

第30回 技能グランプリ

ニッポンの匠が「技」を競いあう

熱き祭典

The 30th Skill Grand Prix

【主 催】 厚生労働省、中央職業能力開発協会、
一般社団法人全国技能士会連合会

Design 第29回技能グランプリ 厚生労働大臣賞 吉川　隼（福島県代表 株式会社 クリエイティブダイワ）

第30回技能グランプリ

大　会　概　要

内容

技能グランプリは、熟練技能者が技能の日本一を競い合う大会で、出場する選手は、当該職種について、特級、1級及び単一等級の技能検定に合格した技能士であり、例えば1級技能士ともなれば、職業訓練指導員免許を持っている場合でも1年以上、実務経験のみの場合は7年以上の実務を経験した熟練技能者です。

技能五輪全国大会が青年技能者（原則23歳以下）を対象とした技能競技会であるのに対し、技能グランプリは年齢に関係なく、熟練技能を競う文字通り全国規模の技能競技大会であり、厚生労働省、中央職業能力開発協会及び一般社団法人全国技能士会連合会の共催により開催しています。大会の優勝者には、内閣総理大臣賞、厚生労働大臣賞などが贈られます。

主催

厚生労働省　中央職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士会連合会

特別後援

兵庫県、神戸市

後援

経済産業省、国土交通省、都道府県、姫路市、都道府県職業能力開発協会、
都道府県技能士会（連合会）、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、
職業能力開発総合大学校、一般社団法人日本経済団体連合会、NHK

開催期間

平成31年3月1日（金）～4日（月）
開 会 式：3月1日（金）
閉 会 式：3月4日（月）

競技会場

神戸国際展示場　近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校
兵庫県立ものづくり大学校　兵庫栄養調理製菓専門学校　神戸ポートピアホテル
ものづくり大学校東　株式会社静岡鐵工所











アクセスマップ …… 2

競技日程 …… 4

職種紹介

01 染色補正…… 8
02 婦人服製作…… 9
03 紳士服製作…… 10
04 和裁…… 11
05 寝具…… 12
06 石工…… 13
07 建築大工…… 14
08 かわらぶき…… 15
09 畳製作…… 16
10 建築配管…… 17
11 プラスチック系床仕上げ…… 18
12 カーペット系床仕上げ…… 19
13 壁装…… 20
14 旋盤…… 21
15 フライス盤…… 22
16 機械組立て…… 23
17 家具…… 24
18 建具…… 25
19 ガラス施工…… 26
20 貴金属装身具…… 27
21 印章木口彫刻…… 28
22 表具…… 29
23 園芸装飾…… 30
24 ペイント仕上げ広告技術…… 31
25 粘着シート仕上げ広告美術…… 32
26 日本料理…… 33
27 フラワー装飾…… 34
28 レストランサービス…… 35
29 タイル張り…… 36
30 造園…… 37

神戸国際展示場

所在地

兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1

競技職種

- 01 染色補正
- 02 婦人服製作
- 03 紳士服製作
- 04 和裁
- 05 寝具
- 06 石工
- 07 建築大工
- 08 かわらぶき
- 09 畳製作
- 10 建築配管
- 11 プラスチック系床仕上げ
- 12 カーペット系床仕上げ
- 13 壁装
- 16 機械組立て
- 17 家具
- 18 建具
- 21 印章木口彫刻
- 22 表具
- 23 園芸装飾
- 24 ペイント仕上げ広告美術
- 25 粘着シート仕上げ広告美術
- 27 フラワー装飾
- 29 タイル張り

神戸ポートピアホテル

所在地

兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1

競技職種

- 28 レストランサービス



株式会社静岡鐵工所

所在地

静岡県静岡市葵区産女1022

競技職種

- 15 フライス盤



兵庫県立ものづくり大学校

所在地

兵庫県姫路市市之郷1001-1

競技職種

19 ガラス施工
20 貴金属装身具



ものづくり大学校東

所在地

兵庫県姫路市市之郷1038

競技職種

30 造園



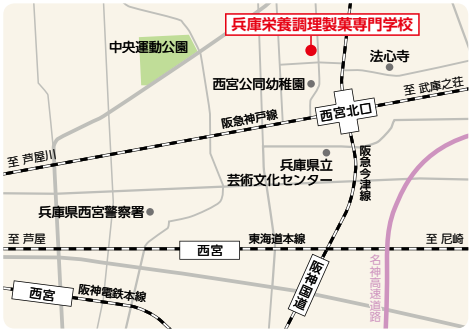
兵庫栄養調理製菓専門学校

所在地

兵庫県西宮市北昭和町9-32

競技職種

26 日本料理



近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校

所在地

滋賀県近江八幡市古川町1414

競技職種

14 旋盤



競技日程

神戸国際展示場

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
01 染色補正	集合・受付　11:30 説明・下見　12:00～13:00	集合・受付　08:30 説明　08:40～08:50 競技　09:00～12:00 昼食　12:10～12:50 競技　13:00～17:00	集合・受付　08:30 競技　09:00～12:00	×	○
02 婦人服製作	集合・受付　10:00 説明・下見　10:00～12:00	集合・受付　08:20 説明　08:30～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～12:55 競技　13:00～17:00	集合・受付　08:40 競技　09:00～12:00	3月3日(日) 12:45～ 13:00	○ 展示可能の場合
03 紳士服製作	集合・受付　10:00 説明・下見　10:00～12:00	集合・受付　08:30 説明　08:40～08:55 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～12:55 競技　13:00～17:00	集合・受付　08:30 説明　08:40～08:55 競技　09:00～12:00 昼食　12:20～13:00	公開 審査時	1位作品のみ
04 和裁	集合・受付　11:00 説明・下見　11:10～11:30	集合・受付　08:15 説明　08:20～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～12:45 競技　12:45～15:45	集合・受付　08:40 競技　09:00～12:00	○	○
05 寝具	集合・受付　11:30 説明・下見　12:00～13:00	集合・受付　08:40 説明　08:50～09:00 競技　09:10～10:40 競技　10:50～12:20 昼食　12:20～13:10 競技　13:10～14:10 競技　14:20～15:00		×	×
06 石工	選手下見　集合 11:00	集合・受付　07:30 説明・工具点検 08:00～08:30 競技　08:30～10:00(90分) 休憩　10:00～10:15(15分) 競技　10:15～11:45(90分) 昼食　11:45～13:00 競技　13:00～14:30(90分) 休憩　14:30～14:45(15分) 競技　14:45～16:15(90分) 計　6時間	集合　08:00 準備　08:00～08:30 競技　08:30～09:30(60分) 休憩　09:30～09:45(15分) 競技　09:45～10:45(60分) 計　2時間	×	×
07 建築大工	集合・受付　10:30 説明・下見　11:00～12:00	集合・受付　08:30 説明　08:35～08:50 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～15:00 休憩　15:00～15:15 競技　15:15～17:30	集合・受付　08:30 説明　08:35～08:50 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～14:45	3月3日(日) 15:00～	○
08 かわらぶき	集合・受付　09:00 説明・下見　10:00～12:15	集合・受付　08:30 説明　08:30～08:45 競技　08:45～10:15 休憩　10:15～10:30 競技　10:30～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～14:45 休憩　14:45～15:00 競技　15:00～16:45	集合・受付　08:30 競技　08:45～10:15 休憩　10:15～10:30 競技　10:30～12:00	3月3日(日) 15:00～ 16:00	×
09 畳製作	集合・受付　09:30 説明・下見　10:00～12:00	集合・受付　09:00 説明　09:30～10:00 競技　10:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～16:00		×	○

※変更になる場合がありますので、詳細については、中央職業能力開発協会ホームページをご覧ください

神戸国際展示場

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
10 建築配管	集合・受付　09:30 説明・下見　09:40 ～ 12:00	集合・受付　08:00 説明　08:10 ～ 08:30 競技　08:30 ～ 10:15 休憩　10:15 ～ 10:30 競技　10:30 ～ 12:00 昼食　12:00 ～ 13:00 競技　13:00 ～ 14:45 休憩　14:45 ～ 15:00 競技　15:00 ～ 17:00		3月2日(土) 17:00 ～ 17:30	○
11 プラスチック系床仕上げ	説明会等は特にありません。 自由に見学は可能です。	集合・受付　08:45 説明　09:00 ～ 09:30 競技　09:30 ～ 14:00 昼食　14:00 ～ 15:00		×	×
12 カーペット系床仕上げ	説明会等は特にありません。 自由に見学は可能です。	集合・受付　08:45 説明　09:00 ～ 09:30 競技　09:30 ～ 14:00 昼食　14:00 ～ 15:00		×	×
13 壁装		集合・受付　08:30 説明　09:10 ～ 09:40 競技　09:40 ～ 11:40 昼食　11:40 ～ 12:30 競技　12:30 ～ 15:00		3月3日(日) 採点時～ 16:00	×
16 機械組立て	集合・受付　08:30 説明・抽選　08:35 ～ 09:00 工具展開　09:00 ～ 10:30 工具点検・ボール盤操作 10:30 ～ 11:30 説明　11:30 ～ 12:00	集合・受付　08:15 説明　08:30 ～ 09:00 競技　09:00 ～ 12:00 昼食　12:00 ～ 13:00 競技　13:00 ～ 16:00 打切　16:30		○	○
17 家具	集合・受付　09:00 説明・下見　09:00 ～ 12:00	集合・受付　08:15 説明　08:15 ～ 08:45 競技　08:45 ～ 12:00 昼食　12:00 ～ 12:55 競技　13:00 ～ 15:00 休憩　15:00 ～ 15:15 競技　15:15 ～ 17:00	集合・受付　08:00 説明　08:00 ～ 08:15 競技　08:15 ～ 11:15 休憩　11:15 ～ 11:30 競技　11:30 ～ 13:00 打切　13:30	○	×
18 建具	集合・受付　08:30 説明・下見　08:30 ～ 12:00	集合・受付　08:00 説明　08:05 ～ 08:20 競技　08:30 ～ 10:00 休憩　10:00 ～ 10:15 競技　10:15 ～ 12:00 昼食　12:00 ～ 13:00 競技　13:00 ～ 15:00 休憩　15:00 ～ 15:15 競技　15:15 ～ 17:00	集合・受付　08:00 説明　08:05 ～ 08:20 競技　08:30 ～ 12:00 昼食　12:00 ～ 13:00 競技　13:00 ～ 14:30 打切　14:30	○	×
21 印章木口彫刻	集合・受付　11:30 説明・下見　11:30 ～ 12:30	集合・受付　08:30 説明　08:40 ～ 08:55 競技　09:00 ～ 12:00 昼食　12:00 ～ 12:45 競技　12:45 ～ 14:45 休憩　14:45 ～ 15:00 競技　15:00 ～ 17:00 打切　17:30		○ 第1～29回の1位作品	○
22 表具	集合・受付　13:30 説明・抽選　13:30 ～ 14:00	集合・受付　08:30 説明　08:50 ～ 09:10 競技　09:10 ～ 12:10 昼食　12:10 ～ 13:00 競技　13:00 ～ 17:00	集合・受付　08:30 競技　09:00 ～ 11:30 昼食　11:40 ～ 12:30 片付・終了式 12:40 ～	3月3日(日) 採点終了後 ～ 17:00	×

※変更になる場合がありますので、詳細については、中央職業能力開発協会ホームページをご覧ください

競技日程

神戸国際展示場

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
23 園芸装飾	集合・受付　11:00 説明・下見　11:00～12:00	集合・受付　08:30 説明　09:00～09:20 競技　09:30～12:00 昼食　12:10～12:50 競技　13:00～15:30		3月3日(日) 09:00～ 13:00	×
24 ペイント仕上げ 広告美術	集合・受付　10:30 説明・下見　10:30～12:00	集合・受付　08:30 説明　08:30～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～17:00	集合・受付　08:30 説明　08:30～08:45 競技　08:45～11:45	×	×
25 粘着シート仕上げ 広告美術	集合・受付　10:30 説明・下見　10:30～12:00	集合・受付　08:30 説明　08:30～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～17:00	集合・受付　08:30 説明　08:30～08:45 競技　08:45～11:45	×	×
27 フラワー装飾		集合・受付　09:00 説明　09:10 競技①　09:50 競技②　10:30 昼食　11:50 競技③　12:50 退出予定　17:30		×	×
29 タイル張り	道具搬入　08:30～09:30 選手集合　09:50 諸説明・下見 10:00～11:30 会場下見・配布資材確認	選手集合　07:50 諸説明　08:00～08:20 競技 午前　08:30～12:00 昼食　12:00～12:50 競技 午後　13:00～16:00	選手集合　07:50 諸説明　08:00～08:20 競技　08:30～12:00 採点　13:00～	×	

神戸ポートピアホテル

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
28 レストランサービス		受付・集合　09:30～09:50 説明・下見　10:00～10:20 競技　10:30～14:00 総評・挨拶　14:30 撤去・退出　16:30		一部展示	×

（株）静岡鐵工所

職種名	2月26日（火）	2月27日（水） 工具搬入・受付・試し削り	2月28日（木） 競技日	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
15 フライス盤		工具搬入　09:00～12:30 集合・受付・説明 13:30 工具展開　14:00～14:45 試し削り　15:00～16:30 片付け他　～17:00	集合・受付・説明 09:00 競技　09:30～12:00 昼食　12:00～12:45 競技　13:00～15:30 打切　15:45		

※変更になる場合がありますので、詳細については、中央職業能力開発協会ホームページをご覧ください

兵庫県立ものづくり大学校

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
19 ガラス施工	集合・受付　10:00 搬入準備　10:00～11:00 下見・説明　11:00～12:00	集合・受付　08:30 説明　08:30～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～17:00 打切　17:00	集合・受付　08:30 競技　09:00～10:00 昼食　12:00～13:00 搬出・撤収　13:00～15:00	×	×
20 貴金属装身具	集合・受付　08:30 説明・準備　08:35～12:00	集合・受付　08:20 朝礼・説明　08:25～08:50 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～12:50 競技　13:00～17:00	集合・受付　08:20 朝礼・説明　08:25～08:50 競技　09:00～12:00 作品提出　12:00～12:10 昼食　12:15～13:00 作品公開　13:00～13:15 終礼・撤収　13:15～	○	×

兵庫栄養調理製菓専門学校

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
26 日本料理	集合・受付　09:30 説明・下見　10:00～12:00	集合・受付　08:00 説明　09:10～10:00 第１課題　10:00～11:00 休憩　11:00～11:30 第２課題　11:30～12:10 昼食　12:10～13:10 第３課題　13:10～13:50 休憩　13:50～14:20 第４課題　14:20～15:20	集合・受付　08:00 説明　09:10～10:00 第１課題　10:00～11:00 休憩　11:00～11:30 第２課題　11:30～12:10 昼食　12:10～13:10 第３課題　13:10～13:50 休憩　13:50～14:20 第４課題　14:20～15:20	3月2日 11:00～ 15:40 3月3日 11:00～ 15:40	×

近畿職業能力開発大学校附属滋賀職業能力開発短期大学校

職種名	2月25日（月）	2月26日（火）	2月27日（水）	2月28日（木）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
14 旋盤	Aグループ 集合・受付 13:00 説明・工具展開 13:10～15:00 試し削り 15:10～16:05 説明等 16:20～17:00	Aグループ 集合・受付 08:30 説明　08:40～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～15:30 打切　15:45 提出　16:00	Bグループ 集合・受付 13:00 説明・工具展開 13:10～15:00 試し削り 15:10～16:05 説明等 16:20～17:00	Bグループ 集合・受付 08:30 説明　08:40～09:00 競技　09:00～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～15:30 打切　15:45 提出　16:00		

ものづくり大学校東

職種名	3月1日（金） 開会式	3月2日（土）	3月3日（日）	競技会場 作品展示	閉会式 作品展示
30 造園	下見 集合　11:00 説明・会場下見 11:10～12:30 三又作成 昼食　12:30～13:00	競技 集合　08:00 説明　08:10～08:20 競技　08:30～12:00 昼食　12:00～13:00 競技　13:00～16:30	競技 集合　08:00 競技　08:30～12:30	競技終了後、撤去	×

3月4日（月）閉会式

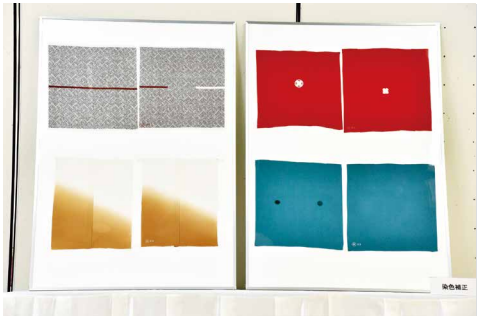
※変更になる場合がありますので、詳細については、中央職業能力開発協会ホームページをご覧ください

01 染色補正

300年以上にわたる「しみぬき」の技

染色補正の起源は、約300年前と言われています。生産過程で発生する難点を吾々の先祖である調整係が手入れを施し、完成品として上納したと伝えられています。その技術は時代の変化に伴い研究開発され、現代もなお着物業界には欠かせない、「着物を直す」職業として受け継がれています。





▲第29回競技課題

競技のポイント

染色補正に用いられる薬品や溶剤及び染料は多種多様で、汚点の種類に応じてそれぞれを使い分ける必要があります。また、調合比率や使い方によって仕上がりも大きく異なり、いかに布地を傷めず周囲と調和させるかが最大のポイントとなります。



競技の概要

染色補正では、代表技術（着物のしみぬきや復元等）を集約した４つの課題を競技します。

第１課題（紋様消し作業）
▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 染色の復元

第２課題（汚れ落とし作業）
▶▶▶▶▶▶▶▶▶ しみの除去

第３課題（小紋直し作業）
▶▶▶▶▶▶▶ 抜染と柄の復元

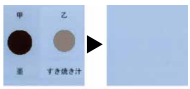
第４課題（ぼかし合わせ作業）
▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 染色の補正

第１課題
（紋様消し作業）



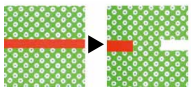
課題図　完成図

第２課題
（汚れ落とし作業）



課題図　完成図

第３課題
（小紋直し作業）



課題図　完成図
右側３分の２の赤色を除去したのち
中央３分の１に小紋を復元します。

第４課題
（ぼかし合わせ作業）



課題図　完成図

02 婦人服製作

ウール地でジャケットを製作する

17世紀後半、ヨーロッパにおいて現在のような洋服の基礎が出来上がりました。日本に洋裁の技術が伝わったのは、明治維新前後のことです。婦人服の洋裁化が始まったのは鹿鳴館時代のことで、第2次大戦後、活動的な洋服の需要が高まり、洋裁技術も大きく進歩しました。







▲第29回競技課題

競技の概要

今回の課題は、無地のウール地で毛芯を使った、オーダーメイド仕立てでテーラーカラーのスーツの上着のみを10時間で仕上げます。

競技のポイント

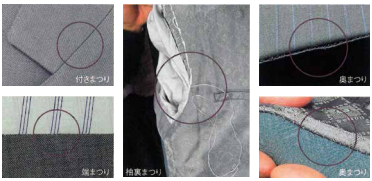
各自で、製図をした型紙を使い、競技は布の裁断から始めます。
柔らかく折り返ったテーラーカラーです。
袖は、二枚袖で、明きは本明き仕立てとします。
衿とラペル、ポケット、前端　等　丸みの多いスタイルです。
衿の返り、袖の形状　身頃のシルエット等、 熟練した技を競います。

03 紳士服製作

素材に合った伝統的な技法で背広を仕立て上げます

洋服が日本に伝来して約160年。一般に普及は戦後（1945年）以降です。背広型は工業化縫製で作業服化し、手作り縫製の注文洋服は高級裁縫技術品になりました。服装は固有の文化であり、着装する人の容姿や感性を熟慮して仕立てられる注文洋服は、より高く人格と品性を表現します。

まつり縫い



縫い合わせの個所により、堅牢にする場合と、きれいに縫い合わせる場合があります。いずれもしっかりと縫い合わせながらそれぞれの素材特性に見合ったゆとり量を入れて縫い付けます（絹手縫糸9号を使用）。「付きまつり」、「端（はな）まつり」、「奥まつり」があります。

八刺し



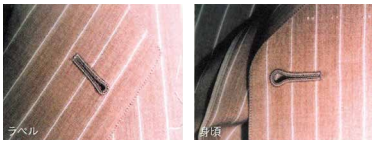
上衣のラベルや上衿の【地衿】に施す刺し縫い。それぞれの個所の芯地と表服地を重ねて、なじませつつ、微妙なふくらみや張りを保つための縫い合わせです。仕上がりの立体形に大きく影響します。通常は、3cm四方に約30針以上羽二重糸（ミシン糸）で刺し縫いします。

テープ張り（テープ吊り）



ラベル（下衿）の形を定着させ、表服地と身頃芯を一体化する作業。ラベルの立体を造形するために必要です。

穴かがり



釦穴かがり。職人が手縫い工程の中で最も針技を集中して作業する個所です。結び目のコブと針足を整列に調和させてかがり縫いをします（絹穴糸16号を使用）。ラベルの飾り穴（おとし穴）はバッジなどの着用を考え、「ねむり穴」「本開け穴」の場合もあります。

競技の概要

事前に裁縫した上着の各部品（前身頃・背中・衿・袖）を組み立てて、人台に着せた時に見栄えと、手縫い技能の奥義の熟達度を競います。衿を除く各部品は手縫い又はミシン縫いで加工し、大部分は手作業で縫い合わせ、完成します。



競技のポイント

部品のうち、上前の前身頃の見返し合わせは本競技で製作します。衿は手作業で作り、袖を付けます。穴かがり・ステッチ（星縫い）・ポケット作りなどと、各部品の良否・立体形の美観について20項目を採点し評価されます。

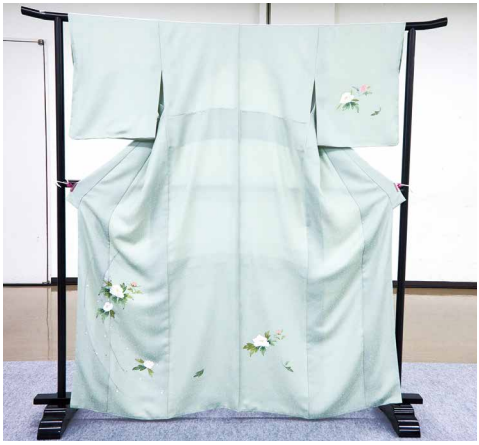




04 和　裁

一針一針、日本の伝統の技と美を仕立てる

和裁技能を身につければ、特別な設備投資の必要もなく、自宅で独立しての仕事も可能です。
最近の傾向として、成人式や卒業式などの特別な日にだけ着物を着るようですが、「浴衣」のように普段着感覚で着ることにより、個性的なおしゃれが楽しめます。
日本の伝統衣装でもある着物を、いま、あなたらしく装ってみませんか。


▲第29回競技課題

競技の概要

競技は「付下げ女子用袷長着」を縫製し、その技を競います。
一反の着物地（約12メートル）を裁断し、しるし付けまでを家で行い、会場では２日間（９時間）で仕立て上げます。
付下げとは、準礼装となる着物です。袷長着とは、裏地のついた着物で、６～９月を除いた月に着用します。



競技のポイント

表地と裏地を合わせるところがポイントです。厚さや伸びの違う２種類の生地を微妙な釣り合いで縫い合わせなければならず、各選手の技能差が最も出る部分です。また、一針一針手縫いのため、全体の縫い目がまっすぐで、仕上がりの美しさも要求されます。コテ光り、焼けこげ、しみ等は大きな減点となります。



05 寝　具

ふとんと座ぶとんの製作



「寝具」は寝るときに用いる用具を言いますが、「座ぶとん」も例外的に、寝具に分類されています。「ふとん」という言葉を字で表すとき、蒲団、布団、布子、フトン、ふとん、等色々書きますが、蒲団はふとんでは無く座蒲団、しかも座禅の時に使用するもので、蒲の茎や穂等を使って製作するものです。江戸時代中頃より、布子、布団、フトン等の文字が使用されてきましたが、現在では「ふとん」で統一されています。綿の入った座ぶとんも、昭和初期までは「座蒲団」と記されていましたが、通産省（現在の経済産業省）の指導もあり「座ぶとん」で統一されています。寝具の歴史は大変古く、古代にまでさかのぼります。

平安時代以降、上に掛けるものとして、衾（フスマ）・褥（シトネ）・筵（ムシロ）、下に敷くものとして、茣蓙（ゴザ）・床（トコ）など言われるものがありますが、寝具が劇的に変化したのは、室町時代末期です。木綿が国内で栽培され始め、武具・陣幕・旗指物・火縄銃の火縄の材料など軍需品として綿が使用されました。徳川時代に入り、戦乱の時代が終息すると、次第に民需品として使い始められ現在にいたります。ふとんは掛けるものと、敷くものとは別々に発展します。17世紀中頃は、着ている衣類を体に掛け、茣蓙や筵などを敷くことができるのは、良い方でした。床（ユカ）の上に直に寝て筵等を掛けるのが一般的でした。紙で作ったカミ衾などもよく用いられていたようです。

今でも寝具を敷くことを「床（トコ）を敷く」「床に入る」とか、病気が快癒して寝間を上げることを「床上げ」という言葉を使います。17世紀末になると夜着（掻巻）が出現します。夜着は丹前を少し大きくしたような物です。夜着が出現してしばらくし、寝具は上方と江戸で全く異なった発展をしていきます。18世紀末に上方では夜着は姿を消します。

※東と西の境界を、次のように分類します。

畿内近畿：紀伊［和歌山］・伊賀［三重］・近江［滋賀］・越前［福井］より西。

関　　東：志摩［三重］・伊勢［三重］・尾張［愛知］・美濃［岐阜］・越中［富山］

関東では昭和50年頃までは夜着が製作されていましたが、現在では大変少なくなったようです。畿内近畿では夜着に替わって、大フトンとよばれる巾の広い長方形の掛けふとんが主流となっていきます。

服部嵐雪の京都東山を詠んだ有名な俳句に「ふとん着て　ねたる姿や　東山」というのがあります。芭蕉の門人嵐雪は、没年1706年ですので、この「ふとん」は大フトンなのか、敷きふとんなのか、寝具の歴史の中では意見が分かれ、未だに結論は出ていません。ふとん側の生地も、畿内近畿では縮緬（チリメン）・綸子（リンズ）・絞り（シボリ）・羽二重（ハブタエ）等の染物が使用されますが、関東では青梅（オウメ）・八反（ハッタン）・銘仙（メイセン）・紬（ツムギ）等の織物が多く使用されます。反物の性質から綴じ方も縦に綴じるか、緯に綴じるか変わってきます。畿内近畿では第二次世界大戦以後まで掛けふとんの事を大ふとんと呼んでいましたが、現在では全国どこでも掛けふとん・敷きふとんと呼ぶようになっています。ふとんの長さは昭和30年頃までは、５尺（約156㎝）の身長に６尺（約191㎝）のふとん丈というのが一般的でしたが、現在では使用する人の身長＋35cmを一応の目安として、それに個人の寝癖を加味して寸法を決めることにしています。





▲第29回競技課題

競技の概要

仕様に基づき、課題１．掛けふとん、課題２．敷きふとん、課題３．角座ぶとん、課題４．円形座ぶとんを製作します。製作順序は、課題１～４の順とします。

・競技時間　４時間40分

競技のポイント

どれだけ睡眠しやすいふとんを作ることができるか。

また、どれだけ座り易い座ぶとんを作ることができるか。

06 石　工

日本古来の石工の形 受け継がれる技を…次世代へ

古来石工は山で採石し、石を槌（つち）と鑿（のみ）をもって様々な石造物を加工して来ました。現在のような機械化の時代でも原点は手仕事です。





▲第29回競技課題

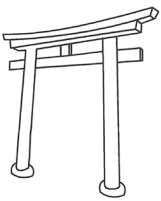
競技の概要

社寺建築で使用する沓石（双盤）をイメージしています。



競技のポイント

石を上下に分けて、上部は丸味の切り込みと天部のホゾ穴、下部は勾配としています。上部は「小叩き仕上げ」、下部は「ビシャン仕上げ」とし、アール加工・稜線・縁取り加工で美しさの出来栄えを競います。



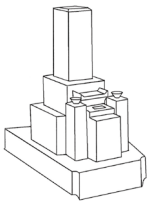
［神社の鳥居］



［春日灯篭（とうろう）］



［観音様］



［おはか］

07 建築大工

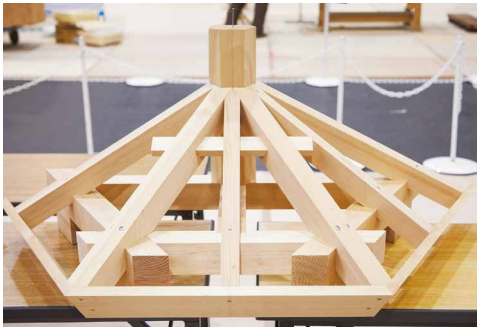
ものづくりの楽しさが実感できる感動の職種

建築大工とは現代では主に、木造建築物の墨付け・加工・建方・造作取付などに従事する大工職人のことを言います。「大工」は、古来より政府の建築技術官の最高の地位を占めるものを指し、必ずしも木工大工職人には限られていませんでした。また、優れた大工職人を一般的に棟梁と呼ぶことがありますが、棟梁はもともと建築工事組織における最高技術者であり、監督のことを指しました。



競技の概要

競技は２日間10 ～ 12時間程度で、課題図に示された複雑な形状の小屋組みの一部を製作し、その技術・技能の出来栄えを競います。



▲第29回競技課題

競技のポイント

現寸図は、全ての基本となる部分です。これを速く正確に書くことが重要です。また、木削りが素早くできること、墨付けが正確にできること、加工能力なども競技の大切なポイントです。



08 かわらぶき

瓦1400年の歴史、現代につづく技の妙技

「ねんど瓦」は、1400年の歴史のある屋根材で、“耐久性”“耐熱性”“強度”に優れ、環境にとってもやさしい屋根材です。
住宅の、風雨を守る大切な屋根、その屋根の瓦を葺く技術「かわらぶき」は、普段はあまり見られる機会がありません。
身近で見られる匠の技を、お見逃しなくご覧ください。



競技の概要

今回一文字軒瓦と万十軒瓦を使用したＪ形瓦葺き架台の屋根の納まりは、切妻部を作り、大棟、隅棟の三つ又部にあえて鳥衾納まりとし、切妻部は袖瓦、巴瓦それぞれの左右対称がバランス良く納まるかが課題となります。



▲第29回競技課題

競技のポイント

方形架台の屋根に切妻屋根を作り、袖瓦部、三つ又部の納まりを、それぞれの面からから見た時に、鳥衾の華麗な納まりと、袖瓦と巴瓦の左右対称を凛とした美しさに納められるかが、各選手の創意と工夫となり、見どころのポイントとなるでしょう。



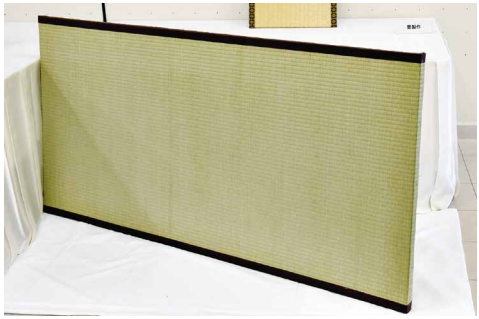


09 畳製作

畳で生きる日本の住まい

日本で生まれた世界に誇れる床材「たたみ」。座敷で団欒から洋間で畳ライフを楽しもうといった風潮もみられます。海外で話題を集めている畳ですが、リラックスできる畳の間が、日本でも見直されるでしょう。





▲第29回競技課題

競技の概要

まず畳の両サイドに檜（ひのき）板を入れて手縫い作業で１枚の畳を仕上げ、畳に合わせて作った枠（畳台）の中に敷き込みます。続いて、部屋の中に設けられる「床の間」（とこのま）に敷く「ござ」をつくり取り付けます。

板入れ縁付新畳工作法



関西系



競技のポイント

畳を作る作業で大切なことは、きちんと寸法を測り材料を切っていくことです。この寸法が間違っていると、いくら立派な畳を作っても商品価値はなくなります。





10 建築配管

配管はライフラインをつなぐ技

安全で快適な生活を営む為には、上・下水道、給水・給湯、排水・通気、空調、冷暖房、消火などは、なくてはならない配管設備です。
「配管技能者」は、高層ビル、住宅、工場などの建物でこれらの配管設備を行い生活のライフラインを支える重要な役割を担っております。「配管技能者」の取扱う配管材料には、鋼管、塩化ビニル管、ステンレス管、銅管、鋳鉄管など多くの種類があり、現在では、鋼管の内面を耐腐食性の材料で覆ったものや、ステンレス管、樹脂製配管など特に耐食性に優れた材料が多く使用されております。



競技の概要

課題は、銅管、塩化ビニル管及び鋼管を組み合わせた配管系の工作です。
課題図に合わせた、より正確な寸法精度で配管するとともに、配管の接続・分岐箇所のさまざまな接合、管の曲げ、配管越え（山越え）など、配管技能者がもつ高度な技を競い合う課題です。



▲第29回競技課題



競技のポイント

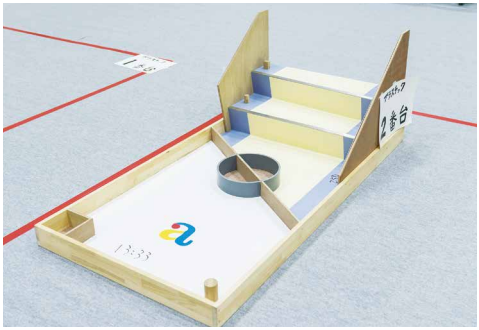
出来上がった作品の形がよじれていないか、図面に示された寸法どおりかなど正確さが求められ、水漏れなどがないかという点も重要なポイントです。
① 配布図面の理解力と作業手順・段取り・作業（加工法）の違い
② 難易度の高い銅管の曲げ加工の精度
③ 完成作品の全体的な見栄え
上記３点に着目して選手を見てください。



11 プラスチック系床仕上げ

床仕上げは建物の最終仕上げ

明治維新後、建築物の洋風化とともに欧米の内装仕上げ技術が導入されました。特に官公庁、病院、大型ビル等の床仕上げにおいては、塩ビタイル、塩ビシート等の施工が主流になっていきました。床は常に人間と接触する部分なので、凹凸が無く歩きやすい施工が求められます。



▲第29回競技課題

競技の概要

競技はプラスチック系床材であるタイルやシートを用い、平坦な部分（平場）と階段部分に割り付け、カッティング、張り付けなどを行っていくものです。文字やパイプの周りなどは、特に繊細な技能が必要とされます。



競技のポイント

本来硬い床材が、まるで紙を切るが如くに操られていきます。
より美しく、より正確に仕上げることを競い合っていきます。
各材料が隙間（すきま）無く、自然な形で競技架台のなかに収まり、仕上がっていく様子が見所です。技能士のワザの出しどころです。





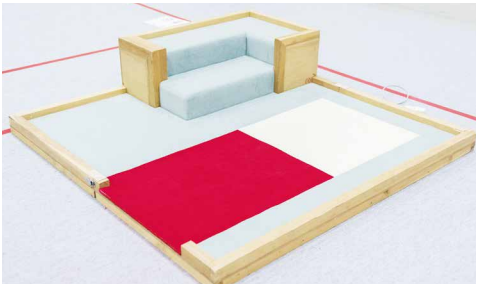
12 カーペット系床仕上げ

床仕上げは建物の最終仕上げ

カーペットの起源は非常に古く、人類が狩猟生活を営んでいたころから存在していたとされています。日本における床仕上げ材としてのカーペットは当初、ホテル、裕福な邸宅など、限られたところでしか使用されませんでした。近年では、住宅はもちろん、学校、病院、店舗など、幅広い用途に供されています。

競技の概要

競技はカーペットを裁断、縫製し、平坦な部分（平場）と階段部分に敷き詰めていき、綺麗に仕上げ施工する作業です。
糸と針を使った縫い合わせや、テープによる接合、特殊工具を使用するグリッパー工法など、多岐にわたる施工技能が必要です。



▲第29回競技課題



競技のポイント

カーペットの縫い合わせ部分や、階段などの凹凸部分を綺麗に仕上げるのが非常に難しいところです。手縫い作業は、まさに職人芸といった練達の技能が必要です。手作業による技能の要素が多く、速さと正確さ、手先の器用さなどが求められ、技能者にとってはワザの見せどころです。



13 壁　装

「壁紙」が発信! 技術を磨き、安全・安心、快適な世の中を…

「壁装施工作業」とは、表具技法により500年来の障壁画作業を基礎として発展。近代、一般社会の要望により進められた和洋建築の合体という新しい展開から成る技術の開拓をもたらしました。
伝統の技を生かしつつ、新しい材質に対応する知識と新しい技術の習熟が常に要求される職種です。





競技の概要

「壁装作業」課題は、A・B・C面に分かれており、織物、ビニール、紙、第三次元新素材等の壁紙の特性に合わせた施工、仕上げ面ジョイントの重要性なども含めた高度な技術が要求された結果、最も効果的な仕上がりになるよう工夫されています。



▲▼第29回競技課題

競技のポイント

競技にあたっては、下地から上張りまで、施工図に従って寸分の狂いも無く張り合わせる。
特に張り下地、仕上げにおいては、出来栄えを大きく左右するので細心の注意が要求されます。



14 旋　盤

「旋盤」は工作機械の原点 μmの高次元の精度と美しさを競う

精密機械の回転する部分には必ず旋盤で加工された部分があり、機械製品を作るには必要不可欠な機械です。現在の主流はコンピューターと機械が一緒になった「NC旋盤」ですが、その機械を使いこなすためには普通旋盤を使いこなす技能と技術が必要です。
一品一様の高精度製品を作るためには、永遠に普通旋盤も必要であるといわれており、普通旋盤を使いこなす卓越した技能者が、近年になって再び必要になっております。



▲第29回競技課題

競技の概要

約２ヶ月前に公開される、４つの部品で構成された競技課題製品を、各自が持参した工具や測定器と、普通旋盤を用いて５時間30分以内に加工して組み立て、製品の精度を競う競技です。
競技課題の加工要素は、外径削り、内径削り、テーパ削り、ねじ切り、偏芯削り、ローレット加工などがあり、普通旋盤で加工できる代表的な要素が盛り込まれています。







競技のポイント

競技課題を製作する過程では、各部品は他の部品と組み合わせて１つの製品になり、組み付け形状で0.01mm単位の精度を満足する必要があります。各部品の精度は図面に指示された公差だけを満足するのでは組み立て状態の寸法を満足しないため、各部品の製作過程では１μm（ミクロンメータ）単位の寸法管理が必要です。
さらに、加工、組み立て、測定、分解を繰り返し行いますので、再度組み立てたときも同じ状態になり、各部の組み立て寸法を満足しなければなりません。そのためには、組み立てたときに接触する全ての面を、最良の仕上げ面にしなければならず、寸法と時間だけでなく、仕上げ面の美しさにも気を使わなければなりません。

15 フライス盤

回転切削工具で緻密な部品加工

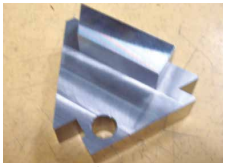
工作機械や自動車、鉄道車両、船舶そして航空・宇宙産業など私たちの身近にある全ての物は、丸い形の部品と角形の部品が組み合わされてできています。その中で、主に角形の部品の基礎は、フライス盤という工作機械で作られます。そのフライス盤で、精密な部品を作り組み立てる競技がこのフライス盤職種という競技です。

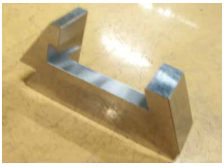
4個の丸い黒い素材から、4個の部品をつくり、組み合わせて、美しい三角形の製品をつくります。部品のひとつ、ひとつの内部は、アリ溝、T溝、勾配などから構成され、加工では最も難しい形になっています。4個の部品をひとつに組み合わせた製品のうち2つの部品に、最大寸法公差（すきま）15μm 以内の高精度に磨かれたピンが上面から挿入されます。この時の部品間の寸法公差（ゆとり）は30μm 以内であり、穴の位置決め精度が重要になります。また、さらにある場所の寸法を当日公表することにより、高難易度の課題となっております。

この製品を5時間以内で完成させるには、高い技術力と知恵が要求されます。

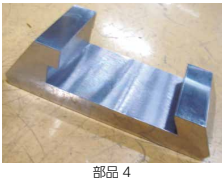

組み付けした課題


組み付けした課題


部品 1


部品 2


部品 3


部品 4





▲第29回競技課題





16 機械組立て

0.001mmの精度で技能を競う
製品機能を満足し隙間なく滑らかに動くことがポイント

① やすりによる0.001mm精度の金属部品加工

参考：人の毛髪の太さは細い人で約0.07mmであり、その１／70mmの加工精度で部品を加工していきます

② キサゲによる0.001mm精度の摺動（しゅうどう）面仕上げ

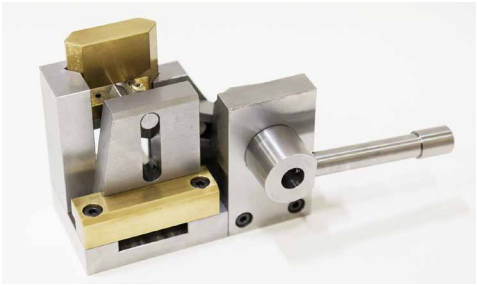
③ ボール盤による0.1mm精度の穴あけ加工

④ タップによるねじ切り加工

⑤ 組立て精度0.01mmを満足する部品組付け調整と芯出し作業

※高精度な製品を短時間に製作する競技で、高度な熟達技能が求められます





▲第29回競技課題

競技のポイント

人の髪の毛の太さは、細い人で0.07mmですが、この競技は“やすり”や“きさげ”などの刃物を使用し0.001mm精度の部品加工をする事や0.01mm精度の部品組み付け調整を行う事がポイントとなります。また、製品完成後の美しさも評価対象となります。参加者にとって、機械が正常に作動した時の感動は格別です。



競技の概要

課題名『シャー＆ハンドプレス』

この課題は薄板（鉄、アルミ等）にパンチ穴を開けたり、切断する装置です。大会では、厚さ0.3mmのアルミ材に穴を開け、0.02～0.05mmの厚さの鋼材を切断します。



17 家　具

家具職人たちが日本の伝統的技術に挑む

日本の家具は、床に直接座ることを生活の基本とした収納のための家具作りから始まりました。
現在我が国では、椅子・テーブル・チェスト類の西洋家具と日本の伝統的な技術を取り入れた和家具に分類され、時代のニーズに合った木製製品を製作しています。



▲第29回競技課題

競技の概要

材料は木の温もりのある無垢材を使い、箱部、脚部、競技前日公表の戸等で構成されています。天板と方立ての仕口には指物の要素を取り入れた「前後留７枚蟻組接ぎ」、方立てと地板・中地板の仕口には「三方胴付」、抽斗には「五枚包蟻組接ぎ」と「三枚組接ぎ」にしました。
脚部の幕板と貫には加工精度が求められる胴付きが傾斜する「小根付二方胴付枘組」を要素として取り入れてみました。
そして引き違い戸は、見付面が全て同じ幅に見える難易度の高い仕口になります。

競技のポイント

箱部、脚部、引き違い戸のうち、どの部分から手掛け、どのような手法で製作するかが競技のポイントになります。また、作品の表面を平鉋で仕上げ平滑に削る醍醐味があります。
機械加工についても使用制限が定められており、全選手が交代で使用するので作業工程の進め方も重要になります。





18 建　具

幅広く奥深い「建具の技能」

建具とは、窓・出入口・間仕切りなどに取り付ける戸・襖・障子などの総称です。建物の外部に使われるものと、内部に使われるものの２種類に分かれ、外部の建具は建物への出入口はもちろん建物を風雨から守り外観を整える役割もします。内部の建具は、室内ドアや、和室の障子や襖、クローゼットの扉など開閉したり間仕切りとして使用されたりしています。湿度調整機能をもつ木製建具は「人にやさしい」と喜ばれています。建具技能者の高度な技術と数々の道具で作り出す建具は時代に合わせ、種類やデザインも豊富になりました。
住む人達の思いを表現できるもの。それが「建具」です。



競技の概要

競技時間や注意事項及び仕様、支給材料に従って課題図に示す衝立を製作します。





競技のポイント

「ひたむきに、そしてひたすらに。
新たな木工技能の高みを目指して頂点を目指す！」
標準時間は12時間。
今回は、競技者が自由な発想で製作出来る自由課題を取り入れた課題です。
加工精度と全体のバランスを考えて製作される作品をご覧ください。



▲第29回競技課題

19 ガラス施工

ガラスの精巧な切断と加工技術の『競演』

建築用板ガラスは江戸時代から使われるようになりました。現在、ガラスの使用は建築物の外壁部に使用されている窓ガラスが一般的ですが、内装材としての使用割合も近年増加しています。厚型化、大型化の傾向も強まってきています。断熱性、遮音性の高い高機能ガラスも最近の「省エネルギー」の風潮と相まって注目されています。



競技の概要

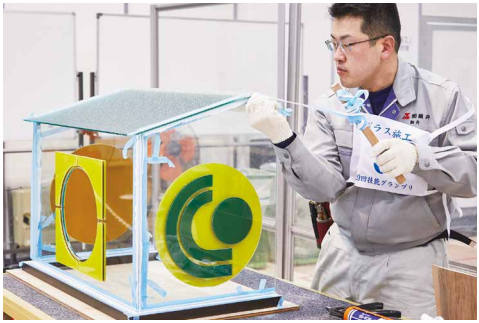
板硝子とカラーガラスを用いて、戸建住宅に見立てた「家形」を制作することによる、ガラスの持っている特性（強度・装飾性等）を表現します。切断技術（曲線切断）と小口加工技術、組立装着技能を難易度の高いところにおいた課題としています。



▲第29回競技課題

競技のポイント

課題に対する取組みの姿勢、段取り、作業手順を基礎にして、切断精度、加工精度、シーリング精度等を厳守した課題を作成。完成品のバランスある装飾美を演出することを求めています。





20 貴金属装身具

宝石の美しさを精緻な技巧が彩る

貴金属装身具は一般的にジュエリーと称され、デザインを基に金、プラチナ、銀などの貴金属材料を加工し、貴石・真珠等を用いてブローチ、ペンダント、イヤリング、指輪等の装身具を製作したものを云います。経験により培われた技能と、製作者各々の感性により表現されたジュエリーは、長い歴史の中で時代と民族を問わず、多くの人々が形を変え、創意工夫を凝らして受け継がれてきたものです。



競技の概要

18金地金を使用してペンダントを作成する

支給された18金の材料を使用し、課題図に示された作品を二日間、延べ10時間で製作します。製作工程は選手各々違いますが、課題図に沿ったパーツを材料から切り出し、曲げ、成形及びろう付等の作業を行い組立てていきます。

今回の課題はガーランド様式で幾何学的模様を用いたデザインにしました。装身具を製作するのに、すべての技巧を取り入れた課題内容となっております。



▲第29回競技課題



競技のポイント

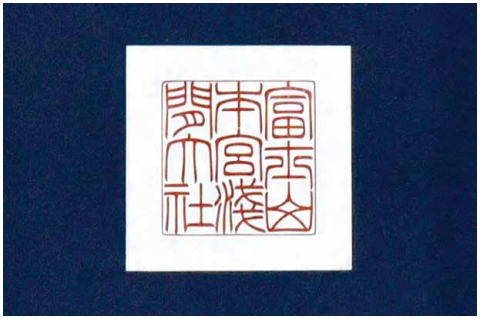
① 装身具として美しく、バランス良く組み立てる。
② 限られた支給材から、正確に材料取りをして、課題図に示されたように立体的に表現し具現化する。
③ 課題図の指定寸法は全て許容差内で仕上げる。
④ 競技時間10時間内で全ての工程を終える。



21 印章木口彫刻

印章木口彫刻手彫り技法の極意を見てください

印章の歴史は、人間社会の文化発生と同時に生まれ、五千年を経ています。
そうして様々な形態の変化があり、日本では明治６年10月１日の太政官布告以来､印鑑登録制度「個人の実印」のもと、持主の財産を守り権利を行使するために欠かせない道具【印章】です。
10月1日は印章の日として、印章の大切さを啓発しております。



▲第29回競技課題

競技の概要

下記の印を作成すること。

竹田城跡城主赤松広秀

① 書体は篆書体（テンショタイ）。配分は自由とする。
② 新常用漢字印章字林の篆書体を使用する。（旧字、常用漢字の混用は避ける）
③ 材料については柘30mm角を支給する。
④ 作業時間：7時間



競技のポイント

競技課題の文字数は10字ですので、通常は3行に収めることになります。
その場合各行に何文字を配分するか、また2字ある「城」の字をどう処理するかが構成上の重要なポイントになります。



22 表　具

歴史に育まれつつ、現代感覚へと継承された日本の文化、伝統工芸技能…

仏教伝来と共に伝わった表具技能は、千数百年に亘り伝統工芸として現在に継承されています。係わる者は表具師・経師といわれ、掛軸・屏風・障壁画・襖・額・巻物・書画帖等の仕立てや修復に携わっています。
幾多の変遷を経て「表装職種」として確立、大成されてきました。

競技の概要

「表具技能」…掛軸・屏風・額装・襖等の基本的且つ高度な仕上げ作業が集約されており、それらを布または紙等を使い総合的に技能を発揮し一つの作品として完成させるものです。





▲第29回競技課題

競技のポイント

「表具技能」の掛軸・屏風・額・襖等を仕上げる際の重点的ポイントを各作業から取り入れ、支給された材料を使い、製作図に従って美的感覚を駆使し、規定時間内に仕上げる競技です。





23 園芸装飾

環境に優しく有効な植物をいかに魅力的に見せるか

歴史的に約100年ぐらい前から家庭、公共施設、オフィス、工場、商業施設などあらゆる観葉植物を必要とするところに植物をレンタルしてきた職種として、今後も地球環境の維持に貢献していきます。

競技の概要

テーマ「ようこそ神戸」

「会場入り口を飾る添景物」を製作するとともに、イベントやパーティー会場に飾る「ようこそ神戸」としてデザインする。



▲第29回競技課題



競技のポイント

採点ポイントは、まずデザインと技術に大きく分けます。

デザインは、創造性・配置・配色の３点があります。

技術は、植木の配置方法や工作物の製作を限られた時間の中で、より手際よく行えるかが重要です。





24 ペイント仕上げ広告美術

発想と筆使いで如何に魅力あるサインを作るか

街を活気づける、店の魅力的なサイン・看板や様々な広告物は屋外広告物と言われますが、それらの製作現場で重要な役割を果たすのが広告美術職種です。昔は一部「商業美術」とも言いました。
通常、顧客の注文によりプロセスは以下のようになります。

1．広告板製作の目的
2．掲出場所と条例や景観の考慮
3．設計とデザイン制作
4．見積書とプレゼンテーション提出、顧客の了解
5．行政手続き、許可
6．広告板の製作

この製作工程には、鉄骨製作、塗装、板金、電気、フィルム加工他の職種要素が含まれ、この中で最も重要な、デザインや広告板面の表示加工を担うのが「広告美術」の技能士です。基本的には、紙と筆記具からスタートし、筆や刷毛を使って描くのですが、近年デジタル化が進みインクジェットプリントやフィルム仕上げの現状となりました。しかし逆に人間の感性を表す、筆や手工技能による表現が人を惹きつけ、その能力が益々大きな武器となりつつあります。





▲第29回競技課題

競技の概要

日本が持っている社会、文化、美、伝統などの魅力からテーマを１つ設定し、訪日外国人に紹介すると同時に、日本人に対しても普段意識される事のない日本の魅力を改めて認識させる作品を制作します。
制作にあたっては、①タイトルを、「○○Ｊａｐａｎ」「Ｊａｐａｎ○○」「○○Ｎｉｐｐｏｎ」「Ｎｉｐｐｏｎ○○」（○○は自由に設定）のいずれかの形式で作成すること、②図が表す内容を説明するコピーを「日本」の文字を入れ40文字以内で制作すること、③広告美術職種用のオリジナル技能グランプリロゴマークを指定された位置にレイアウトすることが条件に指定されています。

競技のポイント

美しく描く高度なペイント技法と共に、広告としての訴求力を生み出すデザインセンス、発想力などにご注目ください。



25 粘着シート仕上げ広告美術

粘着シートで光のサインを作る

街を活気づける、店の魅力的なサイン・看板や様々な広告物は屋外広告物と言われますが、それらの製作現場で重要な役割を果たすのが広告美術職種です。
粘着シートは、表が色面で裏面に糊の付いたシール状の素材で、文字や図柄を切り抜き貼ることで、それまで主流だった手書きによるレタリングや、プラスチック製切り文字に代わる素材として、加工技術と共に普及しました。現在では透明色など色数も充実、用途も多様化し、デザイン性の高い演出効果が得られます。本職種では、シートを手切り加工しますが、実際の仕事ではあらかじめカッティング・プロッタで切り抜いたシートを貼る作業が主流になっています。





競技の概要

日本が持っている社会、文化、美、伝統などの魅力からテーマを１つ設定し、訪日外国人に紹介すると同時に、日本人に対しても普段意識される事のない日本の魅力を改めて認識させる作品を制作します。
制作にあたっては、①タイトルを、「○○Ｊａｐａｎ」「Ｊａｐａｎ○○」「○○Ｎｉｐｐｏｎ」「Ｎｉｐｐｏｎ○○」（○○は自由に設定）のいずれかの形式で作成すること、②図が表す内容を説明するコピーを「日本」の文字を入れ40文字以内で制作すること、③広告美術職種用のオリジナル技能グランプリロゴマークを指定された位置にレイアウトすることが条件に指定されています。

競技のポイント

粘着シートによる光の演出効果と、広告としての訴求力を生み出すデザイン、発想力などにご注目下さい。







▲第29回競技課題

26 日本料理

技術を研鑽してきた料理人の手際の良さと華麗に仕上がる料理

日本料理は、各季節の表現と、走り・旬・名残りの食材を大切にしています。
この事を学ぶためには様々な知識と技術を持たなければなりません。
また、長い間料理人が大切にしてきた約束や仕来りが数多く存在します。
これをしっかりと受け継ぎ、技術を磨きながら、後進に残さなければなりません。



競技の概要

日本料理において最も重要なお椀、刺身、酢の物を課題にしています。
お椀は味が決め手となり、刺身では包丁のキレがポイントです。また、酢の物は献立の締めに出す大切な料理です。さらに、競技では盛り付けのセンスも問われます。最後の第四課題は、残った食材を使用した応用料理で、料理人のアイデアと繊細さが光ります。



競技のポイント

第一課題では、手際良く魚を捌いて下処理し、一枚一枚丁寧な薄作りに仕上げます。
第二課題では、食材に火を通し過ぎずに含め、濃い目の出汁を引き、味を調え、バランス良く盛り付けて仕上げます。
第三課題では、ほうれん草をよくすり混ぜて、色の良い青寄せを仕上げます。
第四課題では、想像力を働かせ、見た目に美しく、美味しさが伝わる料理に仕上げます。





■第一課題
平目の薄作り



■第二課題
煮物椀（梅椀）
・出汁巻玉子・亀甲里芋
・裏白椎茸・花海老・梅花人参



■第三課題
酢肴（木の芽酢）
・鱚・萵苣薹・若布・木の芽



■第四課題
応用料理
（第一・第二・第三課題の残った材料を使う）
（参考例）・先附二品・煮物
・蒸し物・揚げ物

27 フラワー装飾

花や植物の美しさを技術・創造性・感性で魅せる

フラワー装飾作業は、花・植物を素材とした創作活動であり、知識や技能・技術・デザイナーとしての創造性・感性が求められます。
花や植物を通じて安らぎや潤いをもたらすことができるのは大きな喜びであり、生涯の仕事としての誇りを持っています。



競技の概要

支給された花材・素材をもとに花束（スパイラルテクニック）・ブライダルブーケとブートニア及びフラワーディスプレイをそれぞれ１点ずつ時間内に制作します。



▲第29回競技課題

競技のポイント

支給された花材・資材をどのように使用するかは競技者自身が決めます。
技術はもちろんのこと、技術者自身の創造性や感性が試されます。





28 レストランサービス

基本をおさえたテクニックで、食卓の演出家に挑む!!

レストランサービスの起源は、中世ヨーロッパに始まりました。宮廷文化を経て成熟し、フランス革命後のレストランから発展してきました。
現代の実生活では、ホテルのメインダイニングから高級レストランまで、高品位なサービスを提供する場で、優秀なサービスパーソンが活躍しています。



競技の概要

おいしい「料理」を提供するには、料理に関する知識や一般常識が必要となります。
技能グランプリでは、レストランスペースを設け、お客様を招き、実際のレストランさながらの状況で競技を行います。





競技のポイント

課題1：筆記試験/ブラインドテイスティング/カクテルの作成
課題2：ファインダイニングにおけるディナーサービス



29 タイル張り

美観と耐久性に優れたタイルは私たちの生活環境に不可欠

タイルの歴史は古く、そのルーツはメソポタミア時代にあるといわれています。日本には飛鳥時代に仏教とともに中国から伝わり、江戸時代末にイギリスからタイルが輸入されるようになってから、明治以降各時代の建築様式にあわせ多く使われるようになりました。
タイルの特徴は耐久性に優れていること、耐熱性、耐火性、防水性に優れ、かつメンテナンスが容易であること、様々な色彩、形、風合い、質感などを表現できる豊かな意匠性を持つことです。最近では、抗菌、調湿、透水などの新機能や環境保全に貢献する新発想の製品も次々に誕生し私たちの生活に役立っています。
建築資材として優れた製品であるタイルを生かすには、精巧で正しい施工をしなければなりません。それには優れた技能と知識が必要となります。タイル張り技能工は、タイルという工場製品を建物の内外装の壁、床などに施工し完成品にするという重要な役割を担っています。

競技の概要

課題は、「流し台」をモチーフとした作品を下地段階から製作します。
ブロック、れんが、タイルを総合的に使用し、定められた競技時間、注意事項、仕様に従って課題図面に示す作品を製作し、作品の下地製作段階から、タイルの正確な張付、加工、仕上げまでその精度と良好な仕上げが様々な角度から総合的に評価されます。
競技の標準時間は10時間30分です。





▲第29回競技課題

競技のポイント

今回の課題作品の製作には、「積み上げ張り（だんご張り）」、他にモザイクタイル張り、床タイル張り、タイルの切り物加工、ブロック・れんが積み等の工法が盛り込まれており、特に、タイル張りの伝統工法である積み上げ張りやアールを表現する竹割りの張付には高度な技能を用います。他にも、タイル張りに必要とされる多様な技能・技術の要素が取り入れられており、熟練の技に注目して下さい。



30 造　園

街づくりに関わる造園技術、身近な自然を創造する

人間の生活の中で、庭は身近に触れることのできる自然です。造園は、庭づくりはもとより公園緑地や街並みを計画し、快適な住環境をつくることも重要な仕事です。造園作業は、設計、庭の下準備、石組や植栽、細部の仕上げなど見る人が心和む、より自然に近い景観になるように工夫を凝らします。そのため、樹木や石に関する深い知識、空間構成力やデザインセンスから、それらを表現するための施工技術までのさまざまな要素が必要とされます。



▲第29回競技課題

競技の概要

同じ支給材料を使い、横４ｍ×奥行３ｍの区画内で自由な発想で庭をつくり、技とデザイン力を競います。２人一組の作業、競技時間は11時間。庭園テーマは「新しい時代の日本庭園2019」と設定されています。





競技のポイント

技の数だけ庭がある。同じ支給材料を使っても、出来上がる庭はひとつとして同じものはありません。作品ごとに異なる材料の活かし方や、多彩な造園技法は競技のポイントであり見どころのひとつです。また創造性、デザイン性とともに、テーマやコンセプトが的確に庭に表現されているかも競技のポイントになっています。

「ひょうごの匠」洋菓子イベント

主催：兵庫県・(一社)兵庫県洋菓子協会

兵庫を代表するパティシエが匠の技を披露！　絶品の神戸スイーツもご試食いただけます。(先着 200 名)

会場：神戸国際展示場２号館(技能グランプリメイン会場)ロビー

★☆洋菓子製作 実演・試食☆★

3月 2日(土)　14時～15時　各シェフ100個限定





(写真はイメージです。)

神戸洋菓子**ボックサン**

福原 敏晃 シェフ

現代の名工・ひょうごの匠

フレッシュで甘い神戸産イチゴを使ったミルフィーユをはじめ、３種類のケーキを作ります。



レーブドゥシェフ

佐野 靖夫 シェフ

ひょうごの匠



(写真はイメージです。)

フルーツタルト、ザッハトルテ、二郎イチゴを使ったショートケーキ、ヴェリーヌを作ります。

★☆工芸菓子展示☆★

3月 2日(土)・3日(日)







製作者

ケーキハウス**ツマガリ**

岩佐 康雄 シェフ

ひょうごの匠

「兵庫特産品」展示・即売

3月 2日(土)・3日(日)　各会場の競技時間にあわせて開催します

神戸国際展示場２号館(技能グランプリメイン会場)ロビー

神戸スイーツから、ひょうご山海の幸、お酒、工芸品など、多様な兵庫の特産品を展示・即売します。









(写真はイメージです。)

兵庫県立 ものづくり大学校(技能グランプリ会場)

「姫路の特産品」を展示・即売します。



(写真はイメージです。)

ネットでもお取り寄せできます!!



Yahoo! ショッピング **ひょうごの特産品**



ひょうごの特産品　検索